

## 様式第 21 号 無線通信補助設備の概要表記載要領

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 使用状況      | ・該当するものを選択し、共用の場合は、その使用種別を選択記入する。                                    |
| ② 使用周波数帯域   | ・使用周波数帯域を記入する。   |
| ③ 設備方式      | ・該当するものを選択する。  |
| ④ 無線機接続端子   | ・無線機接続端子の設置場所（階・方角）、設置個数、許容入力（連続）W、保護箱の幅・奥行・高さをそれぞれ記入する。             |
| ⑤ 増幅器       | ・増幅器の設置の有無を選択し、設置場所（階・場所名）、メーカー型名、利得（dB）をそれぞれ記入する。                   |
| ⑥ 混合器共用器    | ・混合器共用器のメーカー型名、入力端子数、そう入損失（dB）、設置場所をそれぞれ記入する。                        |
| ⑦ 分配器       | ・分配器のメーカー型名、設置個数、そう入損失（dB）、設置場所（階・場所名）をそれぞれ記入する。                     |
| ⑧ 空中線       | ・空中線のメーカー型名、設置個数、利得（dB）、電圧定在波比をそれぞれ記入する。                             |
| ⑨ 漏えい同軸ケーブル | ・漏えい同軸ケーブルのメーカー型名、標準結合損失（dB）、標準伝送損失（dB/km）、使用長（km）、耐熱措置の方法をそれぞれ記入する。 |
| ⑩ 同軸ケーブル    | ・同軸ケーブルのメーカー型名、標準伝送損失（dB/km）、使用長（km）、耐熱措置の方法をそれぞれ記入する。               |
| ⑪ 製造者名      | ・漏えい同軸ケーブル、空中線、分配器等、増幅器の製造会社名、電話番号をそれぞれ記入する。                         |
| ⑫ 工事施工者     | ・工事会社名、電話番号を記入する。  |

## 無線通信補助設備の概要表

様式第 21 号

①使用状況	専用・ <span style="border: 1px solid red;">共用</span> ( <span style="border: 1px solid red;">警察用</span> )・管理用・その他( )				
②使用周波数帯域	150 ～ 400 MHz				
③設備方式	漏えい同軸ケーブル方式・ <span style="border: 1px solid red;">漏えい同軸ケーブルと空中線方式</span>		・空中線方式		
④無線機接続端子	設置場所	設置個数	許容入力	保護箱の大きさ	
	1F北正面 東南	3個	10 W(連続)	210 mm× 150 mm× 300 mm H	
⑤増幅器	設置の有無	設置場所		型名	利得
	有	地下1階防災センター		多方向 ブースター	10 dB
⑥混合器共用器	型名	入力端子数	そう入損失	設置場所	
	○○○○	2	1.5 dB	地下1階防災センター	
⑦分配器	型名	設置個数	そう入損失	設置場所	
	○○○○	2	4 dB	地下1階防災センター 地下2階通路北端天井部	
⑧空中線	型名	設置個数	利得	電圧定在波比	
	○○○○	3	1 dB	伝送帯域内 (150)MHz にて(2.0)	
⑨漏えい同軸ケーブル	型名	結合損失	伝送損失	使用長	耐熱措置の方法
	○○○○	標準 70 dB	標準 13 dB/km	2 km	耐熱ケーブル
⑩同軸ケーブル	型名	伝送損失	使用長	耐熱措置の方法	
	○○○○	標準 60 dB	0.15 Km	耐熱ケーブル	
⑪製造者名	漏えい同軸ケーブル	○○○○○		TEL	(○○○) ○○○-○○○
	空中線	○○○○○		TEL	(○○○) ○○○-○○○
	分配器等	○○○○○		TEL	(○○○) ○○○-○○○
	増幅器	○○○○○		TEL	(○○○) ○○○-○○○
⑫工事施工者	○○○○○		TEL	(○○○) ○○○-○○○	
その他					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。